

学位申請書類の記載要領

(平成 30 年度版)

浜松医科大学

目 次

【課程修了による学位論文審査の申請に係る書類作成のための手引き】	1
【課程修了による学位審査手順】	2
【論文提出による学位論文審査の申請に係る書類作成のための手引き】	3
【論文提出による学位審査手順】	5
【「学位論文審査願」、「資格審査願」及び「学位申請書」の記載要領】	6
【「論文目録」の記載要領】	10
【「論文内容要旨」の記載要領】	12
【「履歴書」の記載要領】	14
【「研究歴調査書」の記載要領等】	16
【「承諾書」の記載要領】	18
【「研究業績目録」の記載要領】	20
学位申請時のチェック項目（課程博士申請者用）	22
学位申請時のチェック項目（論文博士申請者用）	24
論文審査委員会委員候補者推薦書（紹介・指導教員推薦分）	26

【課程修了による学位論文審査の申請に係る書類作成のための手引き】
(課程博士申請者)

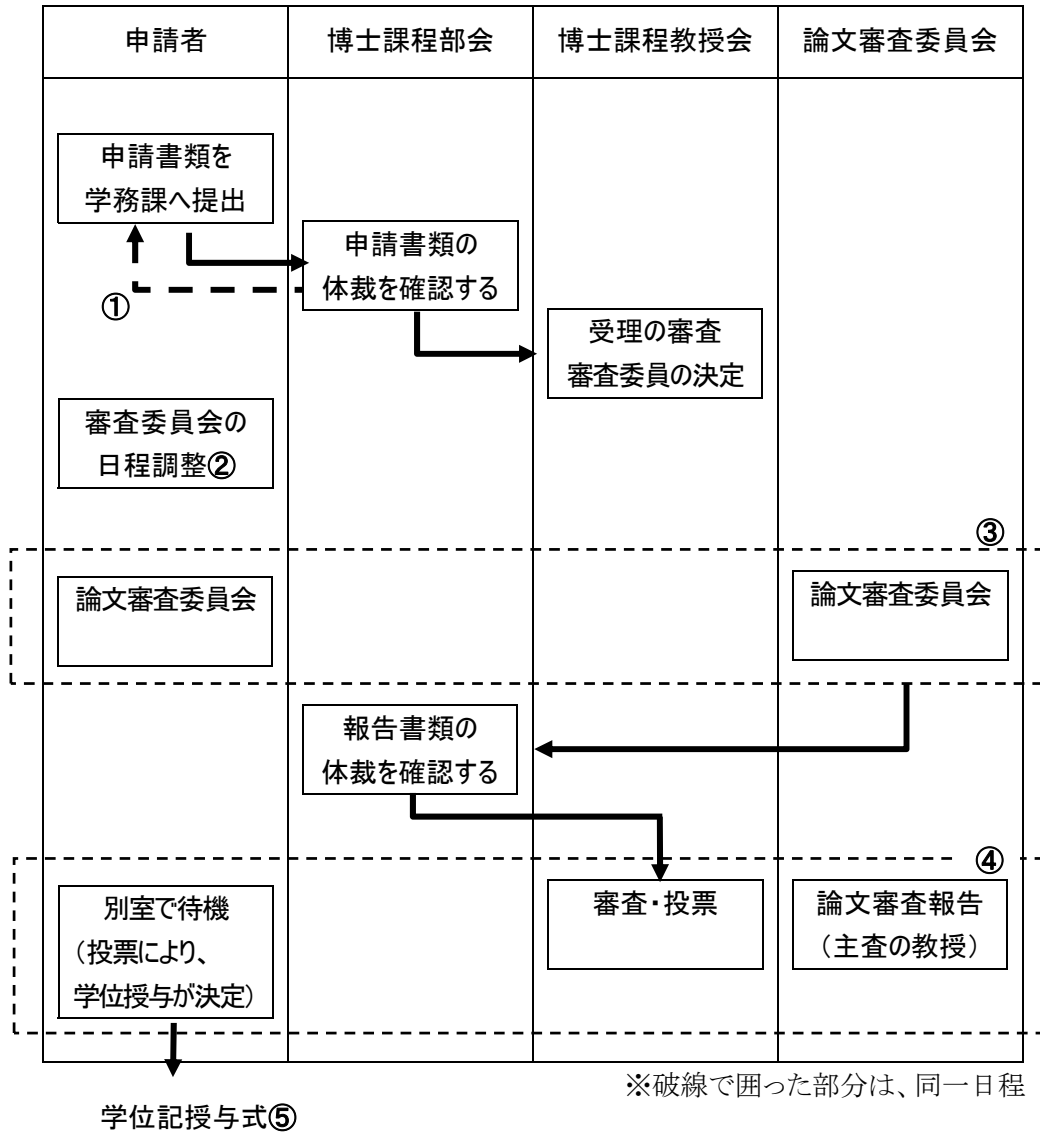
【学位申請書類】

1) 主論文	4 部
2) 副論文(ある場合)	4 部
3) 掲載を前提に受理されたことが確認できる書類 (主論文・副論文が採用されてはいるが、未公表の場合)	1 部
4) 学位論文審査願(別紙様式1)	1 部
5) 論文目録(別紙様式2)	1 部
6) 論文内容要旨(別紙様式3)	1 部
7) 履歴書(別紙様式4)	1 部
8) 承諾書(別紙様式5) (公表論文が共著論文の場合)	1 部
9) 研究業績目録〔論文・著書〕(別紙様式8)	1 部
10) その他	
・学位申請時のチェック項目(課程博士申請者用)	1 部
・「学位論文申請者・進行手順」	1 部
・論文審査委員会委員候補者推薦書(紹介・指導教員推薦分)	1 部

【学術機関リポジトリ申請書類等】

- | | |
|---|-----|
| 11)主論文、副論文の電子媒体(PDF データ等)
※学位申請時に提出した形態のもの(著者最終稿または出版社版) | |
| 12)博士学位論文の学術機関リポジトリ登録許諾書
※主論文、副論文がある場合はそれぞれ作成すること | 1 部 |

【課程修了による学位審査手順】



- ① 大学院博士課程部会で申請書類の不備を指摘された場合は、差し戻しを行う。
- ② 仮綴の論文3部を学務課で受け取り、審査委員会各委員に手渡すとともに論文審査委員会開催日程について日程調整を行う。
- ③ 申請者は論文内容を説明する。(場所は研究棟2階217で行うが、予約状況により変更することがある。)論文審査委員会終了後、仮綴の論文3部を回収し、学務課に戻す。
- ④ 大学院博士課程教授会で学位授与の審査を行う。(通常は第3木曜日)申請者は指定場所にて待機する。
- ⑤ 学位記授与式(秋入学:平成30年9月、春入学:平成31年3月)

【論文提出による学位論文審査の申請に係る書類作成のための手引き】
(論文博士申請者)

【学位申請書類】

- | | |
|--|-----|
| 1) 主論文 | 4 部 |
| 2) 副論文(ある場合) | 4 部 |
| 3) 掲載を前提に受理されたことが確認できる書類
(主論文・副論文が採用されてはいるが、未公表の場合) | 1 部 |
| 4) 大学卒業証明書(本学出身者を除く) | 1 部 |
| 5) 修了証明書(大学院修士課程を修了したもの) | 1 部 |
| 6) 研究歴証明書 | |
| 7) 写真(5.5×7.5)cm (3ヶ月以内に撮影したもの) | 1 部 |
| 8) 資格審査願 (別紙様式6) | 1 部 |
| 9) 学位申請書 (別紙様式7の1又は7の2、7の3) | 1 部 |
| 10) 論文目録 (別紙様式2) | 1 部 |
| 11) 論文内容要旨 (別紙様式3) | 1 部 |
| 12) 履歴書 (別紙様式4の1) | 1 部 |
| 13) 研究歴調査書 (別紙様式4の2) | 1 部 |
| 14) 承諾書[公表論文が共著論文の場合] (別紙様式5) | 1 部 |
| 15) 研究業績目録[論文・著書] (別紙様式8) | 1 部 |
| 16) その他 | |
| ・学位申請時のチェック項目(論文博士申請者用) | 1 部 |
| ・「学位論文申請者・進行手順」 | 1 部 |
| ・論文審査委員会委員候補者推薦書(紹介・指導教員推薦分) | 1 部 |
| ・外国語試験合格通知書の写し(平成 29 年春期以降の合格者) | 1 部 |
| 17) 審査手数料 | |
| 審査手数料(57,000 円)は、論文受理の決定後速やかに学務課
大学院係に納入するものとする。 | |

【学術機関リポジトリ申請書類等】

18)主論文、副論文の電子媒体(PDF データ等)

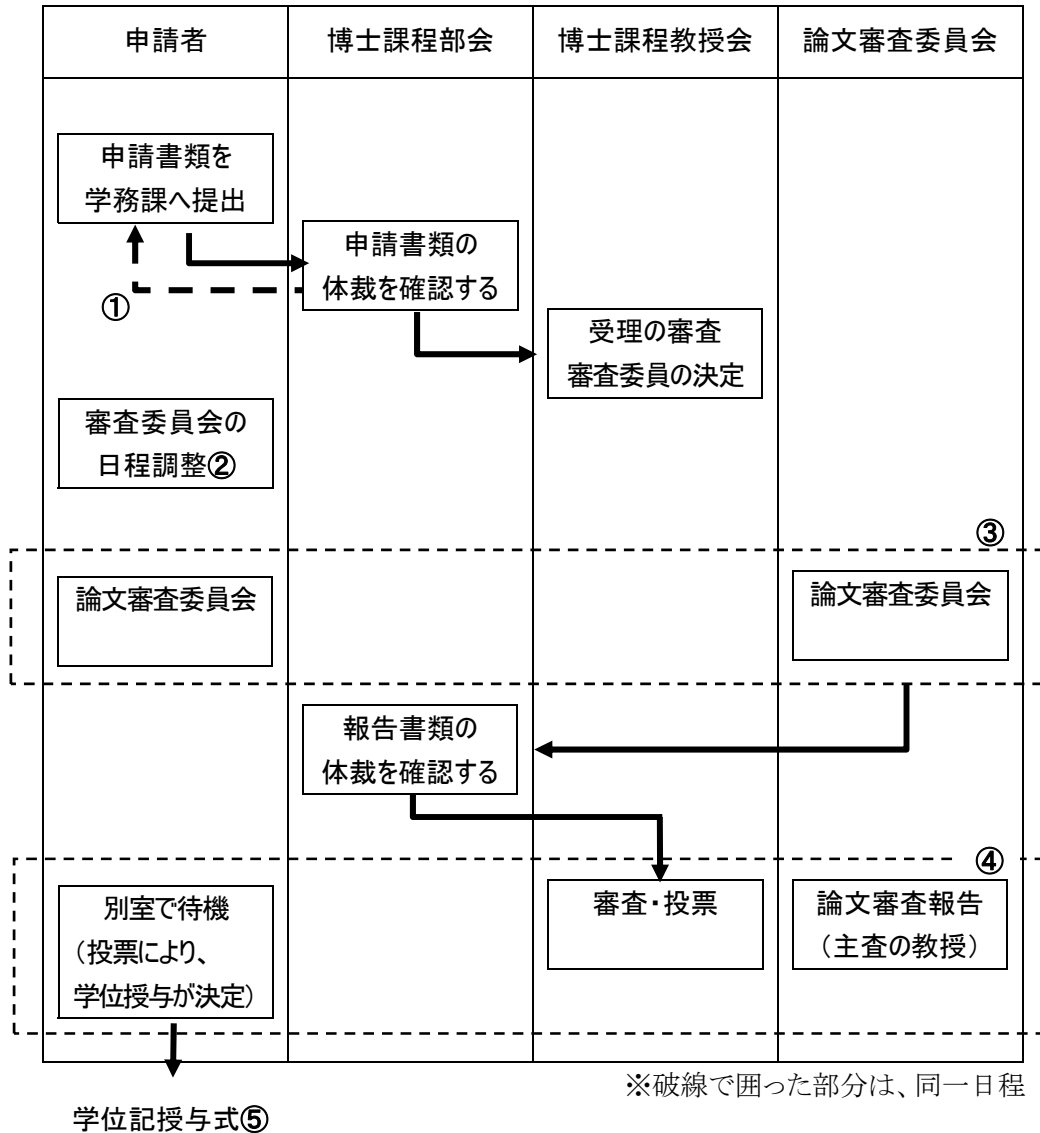
※学位申請時に提出した形態のもの(著者最終稿または出版社版)

18) 博士学位論文の学術機関リポジトリ登録許諾書

1 部

※主論文、副論文がある場合はそれぞれ作成すること

【論文提出による学位審査手順】



- ① 大学院博士課程部会で申請書類の不備を指摘された場合は、差し戻しを行う。
- ② 仮綴の論文 3 部を学務課で受け取り、審査委員会各委員に手渡すとともに論文審査委員会開催日程について日程調整を行う。また、論文提出による学位申請者は論文審査手数料 57,000 円を学務課に納入する。
- ③ 申請者は論文内容を説明する。(場所は研究棟 2 階 217 で行うが、予約状況により変更することがある。)論文審査委員会終了後、仮綴の論文 3 部を回収し、学務課に戻す。
- ④ 大学院博士課程教授会で学位授与の審査を行う。(通常は第 3 木曜日)申請者は指定場所にて待機する。
- ⑤ 学位記授与式(平成 30 年 9 月または平成 31 年 3 月)

【「学位論文審査願」、「資格審査願」及び「学位申請書」の記載要領】

1. 氏名を記載し、捺印すること。
2. 申請書類及び申請論文がまとまったならば、指導教員(紹介教員)に内容の点検を受けるとともに承認印を受けること。
3. 各様式の署名は自署とすることとし、その他はすべてワープロ等で記載すること。
4. 公文書として保存されるので、きれいな印字とすること。字体は日本語「明朝体」を使用し、字の大きさは 12 ポイントを使用すること。読みづらい印字の場合、再修正を要求されることがあるので避けること。
5. 記載要領に従っていない申請書は再提出が要求されるので、本記載要領を熟読すること。
6. 誤字・脱字があれば再提出させるので、申請者及び指導教員(紹介教員)の責任において正確に記載すること。
7. 不十分な申請書は再提出後に審査されるため、審査が遅れることが予想されるので注意すること。

課程博士用

(別紙様式1)

平成 年 月 日

浜松医科大学長 殿

平成24年度以降入学者は
「医学専攻」

平成 年度入学

自署

氏名

専攻

印

学位論文審査願

浜松医科大学学位規程第6条第2項の規程により関係書類を添えて申請しますので
審査願います。

指導教員承認印

受付年月日
受付番号

平成 年 月 日
第 号

副指導教員承認印

論文博士用

(別紙様式6)

平成 年 月 日

浜 松 医 科 大 学 長 殿

自署

氏 名

印

資 格 審 査 願

浜松医科大学学位規程第5条第2項の規程による博士（医学）の学位を申請したいので、資格の審査をお願いします。

論文博士用

(別紙様式 7 の 1)

平成 年 月 日

浜 松 医 科 大 学 長 殿

自署

氏 名 印

学 位 申 請 書

浜松医科大学学位規程第 6 条第 3 項の規程により関係書類及び学位審査手数料
57,000 円を添えて博士（医学）の学位の授与を申請いたします。

指導教員承認印		受付年月日 受付番号	平成 年 月 日 第 号
---------	--	---------------	-----------------

平成 年 月 日

浜松医科大学大学院博士課程教授会承認

学位審査 手数料	
-------------	--

【「論文目録」の記載要領】

1. 主論文は、1 編とする。
2. 主論文の内容を相補する論文を副論文とすることができる。
この場合、副論文も審査の対象とする。
3. 欧文の主論文題目及び副論文題目には、日本語訳を付すこと。日本語訳は欧文の内容を忠実に訳すこと(意訳しない)。
4. 主論文又は副論文が共著の場合は、申請者は筆頭者であること。
また共著者から学位申請についての承諾書を得ること。
5. 主論文、副論文の記載方法は記載例に従うが、次の点に注意する。
 - (1) 著者名・論題・掲載誌名・巻・頁・西暦年次の順に記載する。
※〇〇月号を意味する()は記載しない。
 - (2) 著者名は全員を記載し、フルネームとする。(最後に and を入れない。)
 - (3) 申請者は、自分の氏名にアンダーラインを引く。
 - (4) 欧文標題は、文頭に大文字を用い、その他は固有名詞や略語等で大文字が使用されることが一般的であるもの(例:DNA)等を除き小文字を用いること。
 - (5) 雑誌名についてはフルネームとし、the や of など省略しない。
 - (6) 字体は日本語「明朝体」、英語「**Times New Roman**(または**Times**。以降の書式も同様)」を使用し、字の大きさは 12 ポイントを使用すること。
※英数字フォントを Century で作成しないよう注意すること。
 - (7) コロン、コンマなどの記号は「Times New Roman」を使用し、後ろを半角スペース空ける。数値と単位の間も半角スペース空けるが(例 5 kg)、%(パーセント)、°(角度)、℃(温度)はスペースをあげない。(例: 5%)
6. 印刷公表予定論文は、掲載誌名の後に(in press)と記載すること。
巻や頁が確定していない段階で「Epub ahead of print」として雑誌刊行以前にオンラインで発表されている場合は、DOI(Digital Object Identifier)を併記する。
7. 印刷版のないオンラインジャーナルについては、掲載誌名・巻・ジャーナル所定の番号(E123456、15 など)・西暦年次の順に記載する。

論 文 目 録

報告番号	第	号	氏 名	浜 松 太 郎
主 論 文 <u>Taro Hamamatsu</u>, Jiro Toyohashi, Saburo Hamakita: Vasopressin with delayed combination of nitroglycerin increases survival rate in asphyxia rat model (バゾプレシンと時間差を伴ったニトログリセリンの併用はラット窒息モデルにおいて蘇生率を上昇させる) Resuscitation 54: 297-301, 2014. ※公表予定の場合は、(in press)と記載。この場合、(in press)の語尾には、”.”を付さないこと。 (例) Resuscitation (in press) ※巻や頁が確定していない段階で「Epub ahead of print」として雑誌刊行以前にオンラインで発表されている場合は、DOI (Digital Object Identifier) を併記する。 (例) Gastric Cancer (in press doi: 10.1007/s10120-014-0409-4) ※印刷版のないオンラインジャーナルの場合は、掲載誌名・巻・ジャーナル所定の番号 (E123456、15 など) ・西暦年次の順に記載する。 (例) PLoS ONE 12: e98765, 2014. 副 論 文 <u>Taro Hamamatsu</u>, Jiro Toyohashi, Saburo Hamakita: Vasopressin and epinephrine are equally effective for CPR in a rat asphyxia model (バゾプレシンとエピネフリンはラット窒息モデルにおいて CPR に対して同程度に有効である) Resuscitation 52: 215-219, 2014.				

【「論文内容要旨」の記載要領】

1. 論文題目は、論文目録の主論文題目と同一のものを記載し、論文目録と同じ日本語訳を付すこと。
2. 論文の内容の要旨は、日本語を用い、1,800～2,000 字程度とし、用紙は 2 枚以内にまとめ、文字間と行間を空けて読みやすくすること。
字体は日本語「**明朝体**」、英語「**Times New Roman**」を使用し、字の大きさは 12 ポイントを使用すること。
3. 欧文(単語を含む)は、その欧文を日本語に訳すと意味が異なったり、適切な日本語訳がない場合のみとし、それ以外は日本語(カタカナを含む)に訳すこと。日本語訳は関連学会の用語集に準拠すること。名前の付いた病名の日本語訳は関連学会の用語を使用すること。略語は、なるべく用いないほうがよいが、用いる場合は正式名を本文中の初出時に記載し、括弧内に略語を記載することとし、その後から略語を用いること。略語が分野の異なる研究者が見ても一般的と思われるもの(例:DNA)は最初から使用してもよいが、なるべく前記の方法をとること。
欧文や略語等は、後に提出される論文審査の結果報告書と整合性を持たせること。
4. コロン、コンマなどの記号は「**Times New Roman**」を使用し、後ろを半角スペース空ける。数値と単位の間も半角スペース空けるが(例 5 kg)、%(パーセント)、°(角度)、℃(温度)はスペースを空けない(例: 5%)。英語普通名詞は原則小文字とする。
5. 倫理に係る審査委員会(医の倫理委員会、ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査委員会、組換え DNA 実験安全委員会、バイオセーフティ委員会、動物実験委員会等)の承認を得ている場合はその旨記載すること。
6. この「論文内容要旨」は、学位授与後に被授与者の論文とともに、そのまま広く公表されるため、直接の指導者や指導教員の指導を必ず受け、内容や欧文スペルや語句等について指導教員の最終チェックを受けてから申請すること。
指導教員の責任において大学院博士課程教授会に提出されるので、誤字・脱字・体裁等についても細心の注意を払うこと。体裁に問題があったり、誤字・脱字が見つかった場合は申請者に再度提出させてから再審査するため、審査が遅れることが予想される。従って、論文内容要旨のみならず、論文目録・履歴書等の申請書類全般についても、共同研究者や指導教員による十分なチェックを受けてから申請すること。
7. 論文内容要旨は電子データによる提出も必要。
電子メールにより、daigakuin@hama-med.ac.jp まで提出すること。

論文内容要旨

課程の場合「専攻名」を記載

No.1

医学専攻	氏名	浜 松 太 郎
論文題目	Enhanced migration of fibroblasts derived from lungs with fibrotic lesions (線維化病変を伴った肺由来の線維芽細胞における遊走能の亢進)	
[はじめに] 特発性肺線維症 (IPF) の病理組織像では、線維芽細胞と細胞外マトリックスの増加がみられ、線維化形成の早期には肺胞内への線維芽細胞の遊走が生じると推測されている。IPF 由来の線維芽細胞の増殖能の亢進については幾つかの報告がなされているが、遊走能に関する研究は少なく疾患肺由来の線維芽細胞を用いた遊走能についての報告はこれまでにない。そこで、線維化肺由来の線維芽細胞を培養し、その遊走能を検討した。 [材料ならびに方法] あるいは [患者ならびに方法] 実験については、… そこで、… ※1 (注意) 句読点は「、(読点)」・「。(句点)」を用いること ・ [結果] ※2 (注意) 見出しの後は、改行し、文頭を1文字空けて書き出すこと ※3 (注意) 文字の大きさは表題、本文ともに 12 ポイントを使用すること [考察] ※4 (注意) 禁則文字が行頭、行末にこないようにすること (JIS X 4051 (日本語文書の組版方法) の規定による) [結論] 行頭禁則文字の例 、 , ' ")] [} > 》 」 』 】 - - — = ~ ~ ・ : ; 。 . ! ? ゞ々ーあいうえおつやゆよわアイウエオツヤユヨワカケ 行末禁則文字の例 ‘ “ ([[{ < 《 「 『 【 本要旨の記載にあたっては、記載要領を必ず読むこと。 ・		

【「履歴書」の記載要領】

1. 氏名欄は、氏名・生年月日を記載し、男・女は○で囲むこと。
2. 本籍(外国人は国籍)、現住所を記載すること。
3. 学歴は、高等学校卒業から記載すること。
4. 職歴は、職に従事した期間及び職名を記載すること。
5. 研究歴は、研究に従事した期間・施設名・身分及び職名を記載し、大学院在学期間も研究歴に含めること。
6. 免許等は、医師免許・歯科医師免許・獣医師免許・薬剤師免許及びその他国家試験等に合格した免許の日付、登録番号を記載すること。
※ 外国における医師免許については、これらの後ろに括弧書きで取得した国名を記載し、医籍登録番号については以下のとおり記載するものとする。
 1. 本国における統一的な医籍登録番号を記載する。
 2. 医籍登録番号がない場合は以下の番号をもって代用することとする。
 - (1) 都市等に登録された番号
 - (2) 大学卒業により医師の資格を取得し、登録された番号がない場合は、学位記の番号
7. 賞罰は、その旨記載すること。
8. 字体は日本語「明朝体」を使用し、字の大きさは 12 ポイントを使用すること。
9. 履歴書の(別紙様式4)について、論文博士提出の場合は研究歴調査書(別紙様式4の2)が必要になるため、(別紙様式4の1)とする。申請者によって表示が変わるので注意すること。

(記 載 例)

(別紙様式 4) 又は (別紙様式 4 - 1)

履 歴 書

報 告 番 号	第 号	
ふ り が な 氏 名	はままつ たろう 浜松 太郎	Ⓐ 男 ・ 女 昭和 57 年 6 月 7 日生
本 籍	静岡県	
現 住 所	静岡県浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号	
学 歴 平成 13 年 3 月 静岡県立〇〇〇高等学校卒業 平成 13 年 4 月 浜松医科大学医学部医学科入学 平成 19 年 3 月 浜松医科大学医学部医学科卒業 平成 25 年 4 月 浜松医科大学大学院医学系研究科 (博士課程) 入学 現在に至る ※ 大学、大学院の学部・研究科等の名称を正確に記載する。 (例えば、「大学院医学研究科」ではなく、「大学院医学系研究科」と記載。)		
職 歴 平成 19 年 4 月～平成 21 年 3 月 ※医員 (研修医) の採用年月に注意 浜松医科大学医学部附属病院医員 (研修医) 〇〇〇科 平成 21 年 4 月～平成 22 年 3 月 浜松医科大学医学部附属病院医員〇〇〇科 平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月 〇〇〇総合病院〇〇〇科医師 (常勤) ※ 病院名を正確に記載すること (例えば、「浜松医科大学附属病院」ではなく、「浜松医科大学医学部附属病院」と記載)		
研 究 歴 平成 21 年 4 月～平成 22 年 3 月 浜松医科大学医学部附属病院医員〇〇〇科 平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月 浜松医科大学大学院研究生〇〇〇学講座 平成 25 年 4 月～現在 浜松医科大学大学院医学系研究科 (博士課程) 在学		
免 許 等 平成 19 年 4 月 11 日 医師免許取得 医籍登録番号第 123456789 号		
賞 罰 なし		

上記のとおり相違ありません。

平成 年 月 日 (自 署 名) 印

【「研究歴調査書」の記載要領等】

1. 施設ごとに研究を主として従事した期間・施設名・指導教員名及び研究の内容を記載すること。
2. 履歴書の研究歴と合致させること。
3. 研究期間欄は、その施設において研究に従事した期間を記載すること。
4. 施設名及び身分欄は、所属した施設名（所属部署等まで記載）を記載し、併せて身分を記載すること。
5. 指導者名欄は、指導者名並びに職名を併せて記載すること。
6. 研究の内容欄は、主として行った研究の内容を記載し、その期間に発表した論文及び著書を記載すること。この場合の番号は、研究業績目録と一致させること。
7. 調査書に記載した研究期間について、研究指導者又は直接指導等を受けた大学院担当教員からの次の例による研究従事証明書を添付すること。ただし、本学の教員、医員、研究生等の期間については、証明書提出不要とする。
※ 研究歴の取り扱いについては学位論文審査実施要項によるものとする。

(例1) 研究従事証明書 氏 名 ○ ○ ○ ○ 生年月日 昭和 年 月 日生 上記の者は、○○○大学医学部附属病院○○科に○○○として勤務するかたわら、平成○○年○○月○○日から平成○○年○○月○○日まで私の指導の下で医学に関する研究を行っていたことを証明します。 平成 年 月 日 ○○○大学医学部○○○学講座 教授 ○ ○ ○ ○ 印
(例2) 研究従事証明書 氏 名 ○ ○ ○ ○ 生年月日 昭和 年 月 日生 上記の者は、○○○研究所研究員として、平成○○年○○月○○日から平成○○年○○月○○日まで私の指導の下で医学に関する研究を行っていたことを証明します。 平成 年 月 日 ○○○研究所○○○部門長（医学博士） ○ ○ ○ ○ 印

(別紙様式4の2)

(記載例)

研究歴調査書

研究期間	施設名及び身分	指導者名	研究の内容
自 平成15年6月1日 至 平成17年3月31日	浜松医科大学医学部研究生 ○○○学講座	○○○○ 教授	循環器の生理学的研究 1
自 平成17年4月1日 至 平成20年3月31日	○○大学医学部附属病院 医員○○○科	○○○○ 教授	循環器に与える薬の 生理学的研究 2, 3
自 平成20年4月1日 至 平成23年3月31日	浜松医科大学医学部助教 ○○○学講座	○○○○ 教授	電気生理学的研究 4, 5
自 平成23年4月1日 至 現在	○○○研究センター○○ 部門研究員 浜松医科大学大学院研究生 ○○○学講座	○○○○ 部門長 ○○○○ 教授	電気生理学的研究 6, 7, 8, 9

様式8の番号を該当の研究期間の研究の内容欄に記載すること。
研究期間は、現在に至るまでを順次に記載すること。

【「承諾書」の記載要領】

1. 承諾書は、主論文又は副論文が共著の場合に提出すること。
2. 主論文又は副論文に同一共著者が含まれている場合でも、別々に作成すること。
3. 共著者には、署名(自署)の上、捺印してもらうこと。
※ 共著者が外国人の場合で印鑑を有していない場合は、署名(自署)のみでも可とする。
※ 共著者が外国に在住しているときは、時間に余裕をもってあらかじめ承諾書を取り寄せておくこと。
4. 論文題目は、論文目録に記載したとおりに記載すること。
5. 字体は日本語「明朝体」を使用し、字の大きさは 12 ポイントを使用すること。
6. 承諾書は 1 名につき、1 枚作成すること。

(記 載 例)

(別紙様式5)

承 諾 書

平成 年 月 日

浜 松 医 科 大 学 長 殿

論文提出者氏名 浜松 太郎

共著者氏名 ○○ ○○ 印

論文題目

Enhanced migration of fibroblasts derived from lungs with fibrotic lesions

The New England Journal of Medicine 50: 984-989, 2014.

上記論文を浜松太郎氏が浜松医科大学博士（医学）の学位申請の主論文として提出すること及び浜松医科大学学術機関リポジトリへ登録しインターネット上で無償公開することに異議ありません。

また、共著者である私は、上記論文をいかなる学位申請の主論文にも使用しません。

【「研究業績目録」の記載要領】

1. 論文及び著書は、次のページの記載例に準じて記載すること。なお、論文については、著者名・論題・掲載誌名・巻・頁・西暦年次の順に記載する。
※〇〇月号を意味する()は記載しない。
印刷版のないオンラインジャーナルについては、掲載誌名・巻・ジャーナル所定の番号(E123456、15 など)・西暦年次の順に記載する。
2. 著者名は、全員を記載。最後は and を入れない。
3. 論文では著者名を Yoshida T ,Yamada A, と、頭文字で省略する。(著者名の記載方法は、記載例による。)
4. 申請者は、自分の氏名にアンダーラインを引く。
5. ファーストネームとミドルネームはイニシャルとし、ピリオドは付けない。
6. 欧文標題は、文頭に大文字を用い、その他は固有名詞や略語等で大文字が使用されることが一般的であるもの(例:DNA)等を除き小文字を用いること。
7. 掲載誌は略誌名で記載すること。略誌名は、原則として欧文誌については「List of Journals Indexed in Index Medicus」、邦文誌については「医学中央雑誌:収載誌略名」によること。省略した場合のピリオドは付けない。
8. 字体は日本語「明朝体」、英語「Times New Roman」を使用し、字の大きさは12ポイントを使用すること。
※英数字フォントを Century で作成しないよう注意すること。
9. コロン、コンマなどの記号は「Times New Roman」を使用し、後ろを半角スペース空ける。
10. 欧文著書の出版社の所在地が多数ある場合は、もっとも適切な一都市のみ記載すること。
11. 印刷公表予定論文は、掲載誌名の後に(in press)と記載すること。
巻や頁が確定していない段階で「Epub ahead of print」として雑誌刊行以前にオンラインで発表されている場合は、DOI(Digital Object Identifier)を併記する。
12. 学位申請論文の記載を忘れないように注意すること。
13. 番号と論文がずれないように注意すること

(記 載 例)

(別紙様式8)

研 究 業 績 目 録

番 号	氏 名	浜 松 太 郎	指導教員認印	
1	浜北三郎, <u>浜松太郎</u> , 天竜杉: 消化性潰瘍と血中ペプシノーゲン. 臨床内科 9: 997-1003, 2008.			
2	Fujita K, <u>Hamamatsu T</u> : Intravesical antitumor therapy immediately after transurethral resection of bladder cancer. Int J Cancer 1: 341-344, 2009.			
3	浜北三郎, <u>浜松太郎</u> , 豊橋次郎: 新生理学入門, 南山堂, 2010.			
4	<u>Hamamatsu T</u> , Umemura T: Drug analysis in hair samples and its clinical implications. Can J Physiol Pharmacol 9: 43-48, 2011.			
5	<u>浜松太郎</u> , 浜北三郎: 神経伝達物質の開口放出. 天竜杉(編)シナプス伝達のダイナミクス, 培風館, pp71-90, 2012.			
6	<u>Hamamatsu T</u> , Iwamoto Y, Mizutani K, Yagi H, Takigawa M: Phototoxicity and photoallergenicity of sparfloxacin. Photochem Photobiol 16: 117-120, 2012.			
7	<u>Hamamatsu T</u> , Toyohashi J, Hama R, Matsu T: Effects of interferon-alfa and the herbal medicine sho-sai-ko-to on cytokine production and lung fibroblast proliferation. PLoS ONE 12: e98765, 2013.			
8	<u>浜松太郎</u> , 豊橋次郎, 浜北三郎: <i>Mycobacterium avium</i> 症に合併した好酸球性肺炎の 1 例. 結核 70: 355-360, 2014.			
9	<u>Hamamatsu T</u> , Betz H, Becker CM: Molecular structure and developmental regulation of the inhibitory glycine receptor. In: Ottersen OP, Strom-Mathisen Jeds. Glycine neurotransmission, John Wiley & Sons, New York, pp67-82, 2014.			
10	<u>Hamamatsu T</u> , Toyohashi J, Shizuoka R, Mishima T, Kakegawa U: CD44-SLC1A2 fusion transcripts in primary colorectal cancer. Pathol Oncol Res (in press doi: 10.1007/s12253-014-9887-2)			

論文発表、著書を発表年月順に記載する。

学位申請時のチェック項目（課程博士申請者用）

申請資格

- ☐ 論文はアクセプトされていますか

論文目録

- ☐ 論文の題目は文頭以外は小文字で表記されていますか
- ☐ 欧文の主論文題目、副論文題目には、日本語訳を付し、日本語訳は欧文の内容を忠実に訳してありますか
- ☐ 主論文・副論文の掲載誌名は正式名称で記載してありますか
- ☐ 掲載誌名、巻等は、『掲載誌名 巻: ページ, 年.』の順番に記載されていますか
- ☐ 印刷公表予定論文は、掲載誌名の後に(in press)と記載されていますか
- ☐ 主論文と副論文の共著者の承諾書は全員分ありますか

論文内容要旨

- ☐ 句読点は「、」「。」を用いてありますか
- ☐ 各項目（[はじめに]、[結果]…等）の後ろは改行し、文頭は1文字あけてありますか
- ☐ 文中の英語普通名詞は、原則として小文字で表記されていますか
- ☐ 数字と単位（%, °, °Cは除く）の間を半角スペース空けてありますか（『5 mm, 100 mg』）

履歴書

- ☐ 研究歴に大学院生の期間は含まれていますか

研究業績目録

- ☐ 著者名、論題、掲載誌の省略名、巻、ページ、西暦年次は記載要領のとおりになっていますか（「著者名: 論題. 掲載誌名 巻: ページ, 西暦年次.」になっていますか）
- ☐ 著者名は、記載要領通り省略されていますか（『Suzuki A, Sato A, … Suzuki B:』）
- ☐ 論文の掲載誌名は「Index Medicus」を参考にして省略されていますか
- ☐ 研究業績は前の業績から順に記載し、主論文も記載されていますか

倫理面への配慮

- ☐ 倫理に係る委員会（医の倫理委員会、ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査委員会、動物実験委員会等）の承認を得ていますか
- ☐ 論文内容要旨の中で、倫理に係る委員会の承認を得ていることを記載していますか
- ☐ 上記に該当しない場合、審査の対象ではないことを確認しましたか

その他

- ☐ 学位論文審査願、履歴書及び承諾書の署名は自署（手書）にしてありますか
- ☐ 各様式の字体は日本語「明朝体」、英語「Times New Roman」とし、字の大きさは12ポイントを使用していますか
- ☐ 各様式のコンマ、ピリオド、コロン等の記号は「Times New Roman」を使用し、後ろを半角スペース空けてありますか
- ☐ 各様式1ページ目の右肩上に（別紙様式 ）と記載されていますか

※ 提出された書類は広く公表されるので、必ず指導教員の最終チェックを受け、正式な書式に則って申請をして下さい

論文審査申請者

平成 年 月 日提出

受付番号	申請	学籍番号	フリガナ氏名	指導教員		
	課程博士			副指導教員		
連絡先	現住所	〒				
		電話	FAX			
	勤務先	有	機関名			
		無	〒	電話	FAX	
			email			

・・・・・・・・・・上記太枠のみ記入してください(受付番号は記入しない)・・・・・・・・・・

論文審査手続き進行手順

大学院係受付年月日	・ ・	学位申請論文体裁チェック・修正等
大学院博士課程部会 受理 審議日	・ ・	指導教員に教授会審議日の連絡
大学院博士課程教授会 受理 審議日	・ ・	
論文審査委員会 開催日	・ ・	主査(1名) : 副査(2名) :
論文データ提出	・ ・	
大学院博士課程部会 授与 審議日	・ ・	審査委員会主査、指導教員、申請者に教授会審議日の連絡
大学院博士課程教授会 授与 審議日	・ ・	リポジトリ登録許諾書提出
学位授与年月日	・ ・	
学位記番号	医博 第 号	

学位申請時のチェック項目（論文博士申請者用）

申請資格

- ☐ 外国語試験は合格していますか（平成 年 期合格）
- ☐ 研究歴は定められたとおり満たしていますか

論文目録

- ☐ 論文の題目は文頭以外は小文字で表記されていますか
- ☐ 欧文の主論文題目、副論文題目には、日本語訳を付し、日本語訳は欧文の内容を忠実に訳してありますか
- ☐ 主論文・副論文の掲載誌名は正式名称で記載してありますか
- ☐ 掲載誌名、巻等は、『掲載誌名 巻: ページ, 年.』の順番に記載されていますか
- ☐ 主論文と副論文の共著者の承諾書は全員分ありますか

論文内容要旨

- ☐ 句読点は「、」「。」を用いてありますか
- ☐ 各項目（[はじめに]、[結果]…等）の後ろは改行し、文頭は1文字あけてありますか
- ☐ 文中の英語普通名詞は、原則として小文字で表記されていますか
- ☐ 数字と単位（%, °, °Cは除く）の間を半角スペース空けてありますか（『5 mm, 100 mg』）

履歴書、研究歴調査書

- ☐ 研究歴は満たして記載されていますか
- ☐ 「履歴書」の研究歴と「研究歴調査書」の記載内容とは合っていますか
- ☐ 「研究歴調査書」において本学以外の職員等であった期間の「研究従事証明書」はありますか
- ☐ 「研究歴調査書」の研究期間に誤りはありませんか

研究業績目録

- ☐ 著者名、論題、掲載誌の省略名、巻、ページ、西暦年次は記載要領のとおりになっていますか（「著者名: 論題. 掲載誌名 巻: ページ, 西暦年次.」になっていますか）
- ☐ 著者名は、記載要領通り省略されていますか（『Suzuki A, Sato A, … Suzuki B:』）
- ☐ 論文の掲載誌名は「Index Medicus」を参考にして省略されていますか
- ☐ 研究業績は前の業績から順に記載し、主論文も記載されていますか

倫理面への配慮

- ☐ 倫理に係る委員会（医の倫理委員会、ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査委員会、動物実験委員会等）の承認を得ていますか
- ☐ 論文内容要旨の中で、倫理に係る委員会の承認を得ていることを記載していますか
- ☐ 上記に該当しない場合、審査の対象ではないことを確認しましたか

その他

- ☐ 資格審査願、学位申請書、履歴書及び承諾書の署名は自署（手書）にしてありますか
- ☐ 各様式の字体は日本語「明朝体」、英語「Times New Roman」とし、字の大きさは12ポイントを使用していますか
- ☐ 各様式のコンマ、ピリオド、コロン等の記号は「Times New Roman」を使用し、後ろを半角スペース空けてありますか
- ☐ 各様式の1ページ目の右肩上に（別紙様式 ）と記載されていますか

※ 提出された書類は広く公表されるので、必ず指導教員の最終チェックを受け、正式な書式に則って申請をして下さい

論文審査申請者

平成 年 月 日提出

受付番号	申請	学籍番号	フリガナ氏名	指導教員	
	論文博士			副指導教員	
連絡先	現住所	〒 電話 email FAX			
	勤務先	有	機関名 〒 電話 FAX email		
		無			

・・・・・・・・・・上記太枠のみ記入してください(受付番号は記入しない)・・・・・・・・・・

論文審査手続き進行手順

大学院係受付年月日	・ ・	学位申請論文体裁チェック・修正等
大学院博士課程部会 受理 審議日	・ ・	指導教員に教授会審議日の連絡
大学院博士課程教授会 受理 審議日	・ ・	
審査手数料納付日 (論文博士のみ)	・ ・	会計課出納係へ納付、領収証及び様式7に領収印をもらう (領収証は申請者に渡す)
論文審査委員会 開催日	・ ・	主査(1名): 副査(2名):
論文データ提出	・ ・	
大学院博士課程部会 授与 審議日	・ ・	審査委員会主査、指導教員、申請者に教授会審議日の連絡
大学院博士課程教授会 授与 審議日	・ ・	リポジトリ登録許諾書提出
学位授与年月日	・ ・	
学位記番号	医博論 第 号	

論文審査委員会委員候補者推薦書（紹介・指導教員推薦分）

申請者氏名 _____

候補者氏名 _____ 教 授（主査）

_____ 教 授

平 成 年 月 日

紹介・指導教員 _____ 印

（注）指導教員・共著者及び同一講座の教員は審査委員会委員に推薦できない。

（注）副査については、職位が同等の場合は50音順に記載すること。